

かすかべ KASUKABE 議会だより

2024(令和6)年5月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・広報広聴委員会
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第75号



地震避難訓練の様子（令和6年3月11日実施）



次の定例会は
5月27日（月）開会予定です

主 な 内 容

主な議案の紹介…………… 2～3 ページ
審議結果…………… 3～4 ページ
代表質問…………… 5～6 ページ
意見交換会（議会報告会）…… 6 ページ
一般質問…………… 7～16 ページ

令和6年度一般会計予算は

899億円

令和6年度 一般会計予算を可決

令和6年度の一般会計予算額は、前年度と比較して2億円、0.2%増となる、899億円となりました。

令和6年度は、国際紛争などによる原油価格・物価高騰の影響が長期化し、先行きを見通すことが依然として困難な状況ですが、新庁舎への移転が完了し、まちが劇的に変わる重要な局面でもあります。そのため、経済的な影響を注視しつつ、安定的かつ健全な財政運営を維持しながら、総合振興計画における5つの重点プロジェクト「健康プロジェクト」を中心に取り組み、本市の目指すまちの将来像の実現に向けた予算編成となっています。

【賛成多数で原案可決】

詳細はこちら



修正案

歳入歳出それぞれ2億2202万円を増額し、総額901億2200万円とするものです。

内容について、歳出では、

- ① 心身障害者施設費を500万円増額します。これは、春日部市に1カ所もない障がい者の入所施設を建設整備するためのものです。
- ② 高齢者福祉費を3307万円増額します。長寿記念事業として、77歳の方に1万円を贈呈します。
- ③ 介護保険費を7495万円増額します。これは、第9期の介護保険料について、第1段階から第5段階までの保険料を値上げしないために、介護保険特別会計に繰り出すものです。
- ④ 国民健康保険費を1億400万円増額します。これは、18歳以下の国民健康保険税均等割を全額免除するために、国民健康保険特別会

計に繰り出すものです。⑤ 保育所費500万円を増額します。これは、第3保育所を建て替え、整備し、待機児童解消の一助とするものです。歳入では、① 教育使用料を3644万2000円減額します。これは、公民館の使用料を無料に戻すものです。② 繰越金を1億7487万4000円増額します。繰越金はここ数年の実績を参考とし、計上するものです。③ 教育費雑入を9億1641万2000円減額するものです。これは、庄和地域の給食センターの給食費負担金、春日部地域の給食費負担金、春日部地域中学校の給食費負担金を減額し、給食費を完全無償とするものです。

以上、市民負担を軽減し、障がい者、高齢者、子育て支援を充実させ、市民サービスの向上を目指す修正です。

【賛成少数で否決】

討論

若い世代が「住みたい」、高齢者が「住み続けられる」春日部となることを願って修正案に賛成（日本共産党）

子育て支援では待機児童解消が急務であり、早急に老朽保育所の建て替えに着手し、低年齢児の定員を増やすことを求めます。また、就学援助金は生活保護の1.5倍に、学校給食費は無償化し子育て世帯の負担軽減と子どもの貧困を解決することを求めます。

日本共産党市議団が提案した予算修正案は少子高齢化、若い世代の人口減少という課題の解決につながるものです。学校給食費の無償化は経済的負担を軽減することによって、若い世代を呼び込み、やがては税収増につながるものです。これらの財源は前年度繰越金で十分賄えます。以上のことから、原案に反対し、修正案に賛成します。

計画的で持続可能な財政運営を強く要望し、原案賛成、修正案に反対（次世代 かすかべ！）

原案について、特に、社会保障関連経費や人件費が増加する中で、子ども・子育て施

策の強化は、コロナ禍を越えて高まる社会の要請に添えるものであり、それらの分野にしっかりと予算をつけられていることは評価します。

財政面においては、昨年度に比べて安定した財政運営ですが、今後も社会保障関連経費が増える中、これまで以上に中長期的な視点を持って、財政の健全性を維持し、計画的で持続可能な財政運営を強く要望し、原案に賛成します。

修正案は、繰越金を財源とした一般財源の確保は適切ではなく、事業の継続性が乏しく、持続安定した財政運営が見込めないと考え反対します。

子育て支援の強化を要望し、原案に賛成、修正案に反対（無所属）

原案の予算案については、職員のかたがたが、さまざまな制約がある中で積み上げた予算案として評価します。今後は、市長が自身の明確なビジョンを示し、予算編成を行うことを望みます。

本市の人口減少が進んでいることを踏まえ、子育て支援強化の要望が、複数の議員からありました。全国で人口減少に歯止めがかかっている、

あるいは人口増に転じている自治体の多くが、思い切った子育て支援への予算シフトに踏み切った自治体です。

市長のリーダーシップにより、全体の予算額に占める子育て関連予算のパーセンテージを上げることが要望しつつ、原案に賛成します。

最少の経費で最大の効果を上げる事業の執行を要望し、原案賛成、修正案に反対（自民・無所属の会）

令和 6 年度一般会計予算については、過去最大の予算規模となっており、数多くのまちづくりなどの大規模事業が引き続き実施・計画されています。また、財政面においても人口減少の時代、未来の子どもたちが夢と希望、そして故郷として誇れるまちになれるよう、未来を見据えたまちづくり事業を確実に進める必要があります。

8 点の指摘したことを念頭に、令和 6 年度の予算を、市民の皆さまからお預かりしている税金を一円たりとも無駄にしないという強い意気込みで、最少の経費で最大の効果を上げられる事業を執行することを強く要望して、修正案に反対し、原案に賛成します。

3 月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 () は付託委員会名	審議結果	自民・ 無所属の会	次世代 かすかべ！	公明 党	日本共産 党	立憲民主 党	日本維新の 会	無 所 属
議案第 1 号	専決処分の承認を求める（令和 5 年度一般会計補正予算（第 9 号）） (総 務・厚生福祉)	承認	○	○	○	○	○	○	○
議案第 2 号	森林環境譲与税基金条例の制定 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 3 号	大鳳文化交流センター条例の制定 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 4 号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 (総 務・厚生福祉・建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 5 号	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 (総 務・厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 6 号	印鑑条例及び住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 7 号	職員の給与に関する条例等の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 8 号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	×	○	×	○
議案第 9 号	特別職の給与に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	×	○	×	○
議案第 10 号	手数料条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 11 号	手数料条例の一部改正 (総 務・建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 12 号	ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例及び市営住宅条例の一部改正 (厚生福祉・建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 13 号	介護保険条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 14 号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 15 号	水道事業給水条例の一部改正 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 16 号	市民文化会館非構造部材（特定天井）等耐震対策工事請負契約の議決内容の一部変更 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 17 号	消防本部庁舎受変電設備等更新工事請負契約の議決内容の一部変更 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 18 号	財産の取得（小学校教師用指導書） (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 19 号	市道路線の認定 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 20 号	市道路線の廃止 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 21 号	令和 5 年度一般会計補正予算（第 10 号） (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 22 号	令和 5 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号） (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 23 号	令和 5 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号） (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 24 号	令和 5 年度介護保険特別会計補正予算（第 3 号） (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 25 号	令和 5 年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第 2 号） (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 () は付託委員会名	審議結果	自 民 党 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ !	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議案第 26 号	令和 5 年度市立看護専門学校特別会計補正予算 (第 3 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 27 号	令和 5 年度病院事業会計補正予算 (第 4 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 28 号	令和 5 年度下水道事業会計補正予算 (第 2 号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 29 号	令和 6 年度一般会計予算 (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 30 号	令和 6 年度国民健康保険特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 31 号	令和 6 年度後期高齢者医療特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 32 号	令和 6 年度介護保険特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 33 号	令和 6 年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計予算 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 34 号	令和 6 年度市立看護専門学校特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 35 号	令和 6 年度水道事業会計予算 (建 設)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 36 号	令和 6 年度病院事業会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 37 号	令和 6 年度下水道事業会計予算 (建 設)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 38 号	教育委員会教育長の任命につき同意を求める [鎌田 亨 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○

諮 問

(○:賛成 ×:反対)

諮問番号	諮 問 名 () は付託委員会名	審議結果	自 民 党 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ !	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める [関根 一正 氏] (付託省略)	推薦に賛成	○	○	○	○	○	○	○

請 願

(○:賛成 ×:反対)

請願番号	請 願 名 () は付託委員会名	審議結果	自 民 党 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ !	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
請願第 1 号	仮称) 大倉マンション建設予定地の工事に伴う周辺地域の安全を求める請願 (建 設)	不 採 択	×	×	×	○	×	○	○
請願第 2 号	子育て世帯の負担軽減のため、学校給食費の無償化・それに向けた補助や対象の拡大を求める請願 (教育環境)	採 択	○	○	○	○	○	○	○
請願第 3 号	学校給食調理室へのエアコン設置とトイレの洋式化を求める請願 (教育環境)	不 採 択	×	×	×	○	×	×	○ ² × ¹

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 () は付託委員会名	審議結果	自 民 党 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ !	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議第 1 号議案	議会会議規則の一部改正 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 2 号議案	若者の市販薬のオーバードーズ (過剰摂取) 防止対策の強化を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 3 号議案	地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー (循環経済) の一層の推進を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 4 号議案	令和 6 年能登半島地震の被災者救援策の抜本的強化を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 5 号議案	コミュニティバスを存続させ、地域公共交通の充実発展を図り、利用者の交通権を保障することを求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	×
議第 6 号議案	国産食料の増産、食料自給率向上、家族農業支援強化を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	○ ² × ¹
議第 7 号議案	金権腐敗政治を一掃することを求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	○

代 表 質 問

市長の令和6年度施政方針に対し、各会派の代表者から質問がありました。

←代表質問の録画映像に

ついては、こちらをご覧ください。

←令和6年度施政方針の詳細に

ついては、こちらをご覧ください。

(文責は、各質問者)

自民・無所属の会

①春バス運行について、岩谷市長の選挙公約では、豊春、庄和、豊野エリアでの毎日運行を目指すとうたっていたが、第四次春バス運行計画では毎日運行路線は一つもないが、そのことについて伺います。

②市民公募で愛称を決めたウイング・ハットをネーミングライツの対象施設とするのか。

③友好都市であるパサディナ市へ春日部市が行政として訪問する理由を伺います。また、市長もパサディナ市へ訪問予定なのか伺います。

○市長

①第四次春バス運行計画では、全てのルートで日曜を除く毎日運行としています。春バスの運行がかなわなかった地域は、地域の実情に合った交通手段の検討を行っていきます。

②既に愛称が付いている施設については、愛称を残した形で募集できるかを検討していきます。

③友好都市協定30年を迎えたことを契機に訪問し、両市の関係強化を図りたいと考えています。公務の日程上、訪問が可能となれば、私自身が訪問したいと考えています。

次世代 かすかべ！

①施政方針の中に、国が掲げる「こどもまんなか社会」の実現について、「こども、若者の意見を施策に反映させるための方策を講じる」とありますが、こども、若者の意見を、どのように集約するのか伺います。

②「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」の内容と、今後、市として、どのようなことに取り組むのか伺います。

○市長

①意見集約については、国から示される指針に合わせ、他市の好事例なども参考にしながら、こども計画策定の中で検討していきます。

②国土交通省関東地方整備局が主導し、内水被害の軽減に向け、国、埼玉県、関係市町の連携、役割分担の下、緊急的に実施する流域治水の取り組みを、年度内を目標として取りまとめたいです。

本市の取り組みについては、調整池の整備など、貯水機能の強化、水路、排水ポンプの整備などにより、河川への排水機能を強化し、内水氾濫対策を行っていきます。

公 明 党

新年度に向けた施政方針にはこども医療費の助成対象年齢拡大、带状疱疹ワクチン接種費用助成、がん患者に対するウイッグ・胸部補整具などの購入費用助成、AYA世代の末期がん患者に対する在宅サービス支援、小・中・義務教育学校における空調設備の整備、プレミアム付商品券の発行事業など公明党市議団の主張を数多く取り入れていただきましたが、改めて市長の3回目となる施政方針として、新年度に力を入れている事業には何があるのか伺います。

○市長

子育て・教育分野で、通院助成対象を18歳到達後、最初の年度末まで拡大する「こども医療費支給事業」や葛飾中学校リノベーション工事などの「中学校等施設長寿命化推進事業」、福祉・保健・医療分野で、新たに带状疱疹ワクチン接種費用を助成する「予防接種委託事業」、市民参加・文化・スポーツ分野で公民館に地区センター機能を加える「地区センター運営事業」などです。

日本共産党

①能登半島地震は想定をはるかに超える被害で復旧復興の見通しが見えません。この教訓から地域防災計画の総点検と必要な見直しをすべきです。

②子育てを本気で支援し、若い世代を呼び込むために、学校給食費を無償化することが有効です。検討を求めます。

③高齢者が家に閉じ込められ地域で触れ合い、交流を深める場を提供する、と述べられました。場の提供と共にコミュニケーションが取れるよう補聴器購入の補助を実施すべきではありませんか。

○市長

①現在改定を進めている地域防災計画では、能登半島地震のような大地震への対応を計画書に盛り込んだところです。

②学校給食費の無償化については、将来にわたって持続可能な財源を確保した上で進めることが重要と考えています。

なお、本来は国で取り組むべきものであり、県の市長会において要望を重ねています。

③導入自治体の効果の検証を確認し、併せて動向を注視していきます。

立憲民主党

施政方針から、子育て・教育分野の「子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち」を目指す、「生きる力」を育む学校づくりの推進において、小・義務教育学校の特別支援学級助手を増員し、児童一人一人に応じた、きめ細かな支援とは何か伺います。

また、子どもの社会的自立を目指すため、本市として教育機関と連携をしていく必要があると思いますが、市長の考えを伺います。

○学務指導担当部長

特別支援学級においては、支援が必要な児童数や支援の度合いに応じて、各小学校および義務教育学校に一名から二名配置することを予定しており、複数の職員により、児童の安心安全な学校生活や学習をサポートし、きめ細かな支援に努めていきます。

○市長

子どもの社会的自立を目指すための教育機関との連携は大変重要であり、今後も子どもたち一人一人の社会的自立に向けた支援ができるよう教育委員会と連携していきます。

日本維新の会

① 今回の予算は、史上最大規模の積極的な予算だった令和5年度予算を上回る899億円となっており、財政調整基金は約30億円超、公共用地及び施設取得又は施設整備基金は19・5億円など、多くの繰り入れが行われています。今後、春日部駅付近連続立体交差事業などの大規模事業が続いていく中で、財政運営の考え方について伺います。

② 自主財源確保は最重要課題であり、企業版ふるさと納税制度は、非常に有効な手段だと思うが、これまでの成果と今後について伺います。

○市長

① 今後の財政運営については、担税力を高めること、税外収入の確保に取り組むほか、各種財政指標を注視するとともに、国の財政支援の内容や県の動向を見極めながら、適切な財政運営に努めていきます。

② 令和5年度から、民間企業と企業版ふるさと納税マッチング業務の契約を結び、本市の取り組みを全国へ発信し、効果が現れ始めており、積極的な活用を図っていきます。

意見交換会 (議会報告会)を開催しました

市議会では開かれた議会を目指すし、議会報告会を開催しています。

今回は、若い世代にも議会の活動や市の政策を知っていただくための重要な場と考え、1月16日に春日部工業高等学校の生徒さんを新本庁舎にお招きし、開催しました。

前半は新しい本庁舎の見学を行い、後半は三つのテーマについて、グループに分かれて、生徒さんからご意見などを伺う意見交換会を行いました。その後、各グループから発表していただきました。

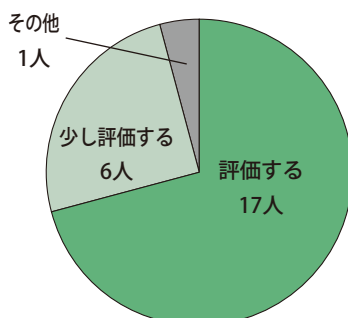
お忙しい中、ご参加いただきました生徒さん、学校関係者の皆さまには、貴重なご意見やご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

なお、市議会ホームページでは、アンケートの集計結果などを掲載していますのでご覧ください。

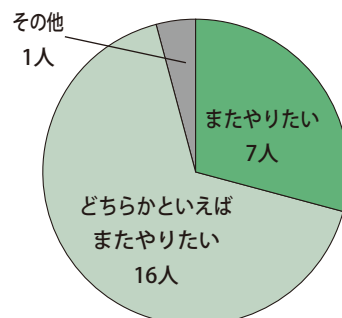
詳しい内容は
こちらから



令和5年度 意見交換会（議会報告会）アンケート集計結果（一部抜粋）



意見交換会（議会報告会）を開催したことの評価



今後の意見交換会（議会報告会）の開催について

一般質問

市民の声を市政に

※ 各議員のQRコードをスマートフォンなどで読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧くださいことができます。

※ 荒木洋美議長は職責上（議事整理権）、監査委員の水沼日出夫議員は申し合わせにより一般質問は行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に27人が登壇

ゼロカーボンシティ
実現に向かつて
宅配ボックス設置補助を



鈴木 一利
議員



春日部市ではゼロカーボンシティ推進本部を立ち上げ、脱炭素社会を目指し、組織横断的な取り組みを開始しています。そこで、ゼロカーボンシティかすかべモデルの取り組み内容について伺います。

また、宅配便の取扱個数が増加している一方、宅配便の再配達の増加も懸念されています。この問題は、CO2排出量の増加のみならず、運転手不足を深刻化させるなど、重大な社会問題の一つとなっています。このような状態を解消すべく「置き配バック」や「宅配ボックス」の支援についての見解を伺います。さらに、市民との協働でのゼロカーボンシティ実現について考えを伺います。

○環境経済部長

市の地域課題解決の糸口となる新たな事業を積み上げながら、持続可能な田園都市型のゼロカーボンシティ実現に

向け、取り組んでいるところ
です。

補助については、現時点で独自の新たな補助事業を行う予定はありませんが、再配達防止の重要性について、市民への周知や啓発をしっかりと行っていく予定です。

○市長

市民の皆さまへの周知が大変重要であり、その上で、「ゼロカーボンシティ かすかべモデル」を積極的に推進していきます。

このほか

○学用品や給食費の支援で子育て世代に選ばれるまちに

令和6年能登半島地震への
対応について



小久保博史
議員



大規模災害となると、被災地への支援は、まずは自衛隊や警察による人命救助が最優先、並行して自治体による避難所運営や物資の支援などが各避難所や避難場所において行われると思います。

いずれにしても、被災地の受入体制が整わなければ、人

的・物的支援は受入れが難しいのではないかと思います。今回の能登半島地震への対応・支援については、どのような体制で行われ、どのように各自治体が支援に行っているのか伺います。

○市長公室長

大規模災害が発生した場合、応急対策職員派遣制度があり、総務省が所管し、関係省庁、関係団体および関係都道府県からの情報収集、情報共有を行い、対応しているものです。支援は、被災地域のブロック内を中心とした応援職員の派遣で、被害の状況が甚大で、他のブロックの応援も必要な場合には、優先順位も決められています。今回は、埼玉県へも関東ブロックから依頼があり、本市へも県からメールをいただき、速やかに人的応援の準備を行いました。

今回の地震では、人命救助を最優先とした活動を行うため、自衛隊、警察などの救助部隊の活動を妨げないよう職員の派遣が行われています。物資の支援では、プッシュ型支援とプル型支援を行っています。

○市営住宅の管理について

災害に強い 春日部



今尾 安徳
議員



本市には、水害時の指定緊急避難場所、広域避難場所があります。利根川と江戸川の同時決壊が起きたときに、水没しない広い面積があるのは内牧地域だけです。要援護者や施設入所者など、車でしか避難できない人が一時的に高台に逃れる避難場所の整備を内牧にできないか伺います。

また、1月1日の能登半島地震は、当初想定を超える最大震度を計測しました。能登半島地震の一番の教訓は、想定を超える災害があったときの対応が必要ということだと思います。そう意味で、さらなる災害対策の推進についての考えを、また、国に対して、市民を守る保護庁をつくって、避難所生活が、人間らしく送れるよう求めていくべきではないかと思いますが、市長の考えを伺います。

○市長公室長

日頃から避難所以以外の避難

高台に避難 してください



高台に避難する人たち

先である自宅の2階以上への垂直避難や、友人、知人宅への避難、車中泊避難など、避難の優先順位に基づく適切な避難をお願いします。

○市長

本市においても、想定し得る最大規模の災害に備えるため、さまざまな事業を実施していますが、想定以上の災害が今後発生することも認識しており、さらなる災害対策の推進に努めます。国に災害時の主導省庁の設置を求めることについては、今後も国や県と連携を緊密にし、市の災害対策を推進していきます。

新庁舎の バリアフリー強化を



古沢 耕作
議員



新庁舎が開庁しました。分散していた各部署が集約され、便利になった一方で、「人によさしい庁舎」として、うたっている施設としては、バリアフリーの観点から多々問題があり、早期の改善を求める立場から、提言、質問を行います。

①本庁舎正面、まさに新庁舎の顔となる位置にオープンしたレストラン（カフェブルーミーズ春日部）の1階にある、メインとなる入口ドアが大変重たく、女性やご年配の方、あるいは車いすを使用する方がたには、容易に開けることができない状態です。早期に改善を図る必要があると考えますが、いかがですか。

②エレベーターについて、車いす使用者の方などから、開延長ボタンがないため、「乗り降りの際に慌ててしまい、怖い思いをしている」という声が寄せられています。何

か対策を講じていますか。

○公共施設事業調整担当部長

①レストランは来庁者の皆さまが利用される場所であることから、早期に対応していきたいと考えています。

②扉が開いてから自動で閉まるまでの時間が、通常4秒程度のところを、車いす使用者に配慮し、10秒に設定しています。

また、センサーが設置されており、利用者が扉に挟まれることなく、安全に乗降できる仕様となっています。

このほか

○能登半島地震発生を受けて

災害時に要配慮者が安全に避難できる支援体制を



大野とし子
議員



災害関連死を出さない春日部市とするために、要配慮者の支援体制の確立が求められます。

市の防災計画には、「名簿あるいは要配慮者マップ等を活用し民生委員、社会福祉協議会等の協力を得ながら、要配慮者の確認をする」とあり

ます。要配慮者の支援体制について3点伺います。

第1に、配慮が必要な障がい者、寝たきりの高齢者などの把握はできていますか。

第2に、難病で自助、共助では避難が厳しい方への避難方法はできていますか。

第3に、一次避難所で集団になじめない障がい者や、体調を崩した高齢者の支援体制はどうなっていますか。

○福祉部長

災害時要援護者支援制度への登録者は92人です。より多くの方に登録していただけるよう積極的な周知を行います。

○健康保険部長

高齢者の把握については、日頃からケアマネジャーと連携をとり、把握できるように努めます。

○市長公室長

具合が悪くなった場合には、紙管間仕切りを活用した個室に段ボールベッドを配置し、横になって休めるスペースを確保することとしています。また、状況によって、学校では保健室などを活用します。

このほか

○空きスペースも生かし、庄和総合支所の利便性の向上、充実を

消防の救急 体制について



中村 貴彰
議員

消防指令センターは、緊迫の現場からの通報に心を尽くし、的確にアドバイスをしてくれる力強い市民の味方です。命の危険が迫る患者に、その場に居合わせた人が、すぐ救命処置をすることが大切だと思いますが、いざ、そのような場面に出会ったときに、誰でも適切に胸骨圧迫やAEDの使用ができるかというとなかなか難しいと思います。そこで、その場に居合わせた人が、スマートフォンで撮影した動画を指令センターと共有し、通報者に対して、応急手当のアドバイスを行い、効果的な救命処置につなげることが可能なシステム「Live119」があります。常に患者さんの生死に直面する救命救急で、突然、消えそうになりつつある一つの命の明かりが、再びともり続けられるようなドラマが生まれるかもしれない。必ずや大きな力

になると思います。実際に命を救った映像通報システム「Live119」の導入について、考えを伺います。

○消防長

令和8年4月1日の運用開始を進めている消防指令業務の共同運用整備工事の中で、「Live119」の導入についても費用対効果や運用方法など、東埼玉消防指令業務共同運用協議会において、関係市町と調査研究して検討を進めていきます。

このほか

○パパの子育て支援について

市内のスクラップ ヤードについて



金子 進
議員

スクラップヤードについては、電気製品などを廃棄するときに、リサイクルするため、適正に金属類、プラスチック、ガラスなどに分別しなければなりません。

また、作業時の騒音や異臭、そして、汚水が発生して近隣住民に迷惑となる問題も発生

しています。

内牧の県営住宅先の農業用ビニールハウスの場所に、金属類などが積まれています。分別は、行われておらず、可燃物も混ざっていて、廃棄物のように見えます。

現在は、資源物や有機物を取り締まる法律がないため、各自自治体で条例を制定して規制していますが、本市の対応を伺います。

○環境経済部長

市内にあるスクラップヤードについては、13カ所あることから、引き続き、騒音、悪臭などが生じることのないよう、原因となる行為を行った者や土地の所有者に対して、調査や行政指導を、しっかりと継続していきたいと考えています。

また、埼玉県条例が制定されたら、産業廃棄物の指導経験などを有する埼玉県と市町村が連携しながら、スクラップヤードの問題に対処するとともに、埼玉県警との情報共有も、よりスムーズに行えることから、有効な規制になるものと期待しているところで

このほか

○職員の給与等について

教育現場と 働き方改革について



伊藤 一洋
議員

校務支援システムは、児童生徒の成績や出席などの情報を一元管理することで、通知表や指導要録の作成など、学期末や年度末の教職員事務作業を合理的、効率的に行うことができます。

また、グループウェア機能の活用により、情報共有が容易になり、ペーパーレス化、DX化が図られ、教員が児童生徒と向き合う時間の増加にもつながります。教職員の働き方改革に、とても有効な校務支援システムの導入に向けた、今後の予定を伺います。

○学務指導担当部長

校務支援システムの導入については、教育委員会職員と校長、教頭、主幹教諭、養護教諭、事務職員など、学校の代表で構成する校務支援システム導入検討委員会を設置し、どのような機能が必要かなどの意見聴取を行いました。

また、近隣市町で導入して

いるシステムの種類や機能、予算などの情報収集を行いました。

今後は、検討委員会で引き続き協議を重ね、他市町での活用状況を踏まえ、本市の教職員にとって有効なシステムの在り方を精査していきます。また、校務支援システムの導入には、国の補助金の活用を検討するなど、関係課と連携協議を進め、できるだけ早期に導入できるよう取り組んでいきます。

このほか

○内谷地区通学路の安全対策について



働き方改革により生き生きする様子

大谷翔平選手から 子どもたちに向けた プレゼントグローブについて



石川 友和
議員



市内の小学校・義務教育学校に贈られた大谷翔平選手からのグローブ。

子どもたちが使えない期間をつくってまで市役所に展示をしたのか、多くの市民の方から嬉しいご意見をたくさんいただきましたので、以下伺います。

①どの学校から借りたのか
②グローブと一緒に飾られていたユニフォームとバットの詳細は。

③卒業を控える6年生から使う機会を奪ってまで展示に踏み切った理由について。

④1カ月近くの長期間展示をする意味はどこにあったのか

○学務指導担当部長

①グローブは、豊春小学校、粕壁小学校、内牧小学校、武里小学校の4校から一週間ずつ借りました。

②展示に当たり、市長への報告と関係課に相談を行い、その中で、市長から、ユニフォ

ームと一緒に飾る提案をいただきました。

また、バットは、展示を知った市民の方が、ご厚意で貸していただける話が市長を経由して入り、展示することとしたものです。

③展示に当たり、話題性ということも考え、あまり遅い時期ではないほうがよいと考え、このような時期、方法を取ることにしたものです。

④小学校に入学する前の子どもたちが、グローブを見ることのできる時間を少しでも確保したいという思いから、期間を4週間としたものです。



市役所に展示された大谷翔平選手のグローブ

災害時の トイレ対策について



木村 圭一
議員



これまでも災害時のトイレ対策を強化することは非常に重要な取り組みで、マンホールトイレの普及促進やトイレトレーラーなどの導入促進を質問してきました。特にトイレトレーラーについては、大型免許や牽引免許取得、また、保管場所などに課題があり、本市では実現できていません。例えば、民間事業者との協力で、導入の可能性も視野に入れるべきだと思いますが、本市の見解を伺います。

また、トイレカーは、大きさも軽自動車タイプから大型トラックタイプまであり、トイレカーだけでも導入できないか伺います。

○市長公室長

トイレトレーラーの購入を検討している自治体では、導入費用と併せて、牽引に関する業務を民間事業者へ業務委託する例もあります。民間事業者との包括連携などによる

活用について、比較検討を行うっていきます。

トイレカーの導入について、大型免許や牽引免許が必要なく、市職員においても普通免許を持つていければ運転ができ、どこへでも移動できる点ではメリットが大きいと考えています。そして、何よりも避難者のニーズに合わせた対応が必要と考えていますので、さまざまな検証をしていきます。

このほか

○広報紙の多様性対応について
○問合せ対応のDX化について

春日部市の 地域公共交通について



鬼丸 裕史
議員



2024年問題を契機に、埼玉県内では乗務員不足によるコミュニティバスの減便や廃止の影響が始まっています。この事態は対岸の火事ではありません。どのバス事業者でも、乗務員不足は深刻な問題となつているようですので、何かしらの対策を講じなくて

はなりません。自動運転バスは地域の足を担え、現在、国土交通省でも補助しています。そこで、以下伺います。

①路線バスやコミュニティバスの運行が難しくなった場合、他のどういった方法や対策が考えられるのか。

②本市においても、将来的に自動運転バスを導入できないかと考えるが、その認識や可能性について。

○都市整備部長

①コミュニティバスを減便する自治体では、タクシー事業者がワゴン車を運行する形に切り替えたり、デマンド交通の運行台数を増やすなどの対応をしています。なお、国では、乗務員不足に対応するため、二種免許を持たない一般のドライバーが家用車を使用して運行できる、ライドシェアの議論が進んでいます。

②自動運転車両は、運行経費が高額であり、実証実験中の事故が相次いでいるなど、実用化までの課題が多い状況です。現時点では、国や実証実験の動向を注視していく必要があると考えています。

このほか

○シルバー人材の活用について

行政のDX化の 推進について



栗原 信司
議員



キャッシュレス決済の進展などにより、来庁しなくてもいい行政手続きのDX化を推進と施政方針にあります。これに関連して伺います。

1点目は、高齢者などのデジタルデバイス対策はどうなっているのでしょうか。特に体験からの確なアドバイスができる高齢者による高齢者のスマホ教室は有効なものと思われませんが、市の見解を伺います。2点目は、市の情報発信、市民の交流の場にもなるスマートバス停の利活用が広がっていますが、市の見解を伺います。3点目は、メタバースの利用について伺います。4点目は、コンビニでの諸証明書の発行の際の交付手数料10円事業の延長について伺います。

○総合政策部長

高齢者向けスマホ講座と県立大学生と一緒に学ぶスマホ相談カフェを実施しています。

メタバースについては、利用の可能性を検討していきます。コンビニ交付手数料については、新年度から地区センターの行政キオスク端末でも取得できる予定のため、今後の利用状況を見極めた上で適切な時期に判断していきます。

○都市整備部長

スマートバス停は、市政情報も掲示できるものですが、費用対効果を検証し、県内他市の動向を注視します。

このほか

○コードモの導入について
○ボイススカウト支援策について

NHK受信料が チューナーレステレビ



酒谷 和秀
議員



春日部市がNHK受信料を支払ってまでテレビを設置する理由と、テレビの使用方法について伺います。

NHKに受信料を支払っているテレビを処分して、チューナーレステレビに置き換えれば受信料負担を削減できると考えます。チューナーレス

テレビの導入について、本市の考えを伺います。

○財務部長

市役所では議会中継を放映するほか、災害時にニュースやデータ放送などから情報収集のために使用しています。

また、災害対策本部では、避難指示や避難所の開設状況などの緊急情報を多くの皆さまにお知らせするアラートの確認用としても使用しています。消防本部や消防署では、情報収集のための使用のほか、消防車両のチューナー付きカーナビゲーションは、大規模災害の発生時に他自治体へ応援出動をする際に、移動しながらの情報収集のために使用しています。公民館やコミュニティ施設では、通常時は職員間の打ち合わせ、利用者による会議や発表用のモニターとして使用し、避難所運営時には情報収集のために使用しています。

公民館などには、すでにチューナー付きテレビを設置しているため、新規に導入する予定はありません。今後、テレビの買い替えや新規の設置に当たり、利用目的に応じて費用対効果の高い機器を選定したいと考えています。

公民館の改善・充実と 使用料無料化を



並木 敏恵
議員



公民館は、自主的な学びを通して、地域づくりの拠点です。4月から地区センターが併設され、その役割は一層重要になります。

公民館は、いずれも老朽化しており、建て替え、改修について計画はありません。

「施設運営に大きな支障を来す恐れのあるものを最優先に修繕を行っている」ということですが、計画的に建て替え改修を行うため、「計画」を作るべきではないでしょうか。地区センターが併設されることで、自治会は「公益に資する団体」として使用料が免除されます。しかし、学びを通して地域をつくる公民館活動そのものが「公益」です。使用料の支払いで市民を区別するのではなく、すべての利用者を無料にすべきですが、市長の見解を伺います。

○社会教育部長

施設の改修に当たり、庄和

市民センター正風館リノベーション工事では、個別施設計画を策定しました。今後は、春日部市公共施設マネジメント基本計画に基づき計画的に取り組んでいきます。

○市長

公民館使用料は、すでに有料化されて16年が経過し、受益者負担の考え方には一定の理解をいただいているものと受け止めています。今後も安心してご利用いただける運営を推進します。

このほか

○児童虐待ゼロ、安心して子育てできる春日部に



中央公民館

旧庁舎について



平沢 一博
議員



本市の発展を見守り続けてきた旧庁舎が53年の歴史に幕を閉じました。ガラスをふんだんに使い、曲線が生み出すモダンさなどから建築業界でも注目を集めつつ、春日部駅に降り立つ人を、両手を広げて温かく迎えるイメージで建てられたとのことでした。

今後は、中心市街地に整備される新たな公園として計画を進めていくとのことですが、以下、お伺いします。

- ①今後の予定について。
- ②旧庁舎を取り壊すに当たり、遺産として何か残す考えがないのか伺います。
- ③事務机やパイプいすなど、希望する団体や個人に無償提供してもよいかと思いますが、市の見解を伺います。

○財務部長

①旧本庁舎と別館の敷地については、令和6年度から令和7年度にかけて解体工事を実施していきます。解体後には、

プレミアム付商品券について



山崎 進
議員



その跡地に新しい中央町第一公園の整備を予定しています。②旧本庁舎は当時、建築学的な見地で高い評価であったという資料もあり、一部の部材を歴史的な遺産として保存することについて、関係部署と協議を進めているところです。③旧本庁舎で使用していた什器は、大半の物が30年を超えて使用された状態です。安全性の面から市民の皆さまへの提供は難しいと考えています。このほか

○ふるさと納税について

○公共施設のWiFi環境について



旧庁舎

的は、物価高騰の影響を受けている市民への消費下支えと市内経済の活性化です。効果は、過去3回の発行総額29億円が短期的に市内で消費されたため、市内経済の活性化につながったと考えています。

なお、病院などでは、事業の目的から、使用することは難しいものと考えます。

○総合政策部長

デジタル地域通貨については、調査研究に取り組みます。このほか

○赤沼、銚子口地区の産業団地について

○銚子口橋について

本市における消防団活動について



大里 昇
議員



今、全国で消防団員が減少していますが、今回の能登半島地震では消防団員の活動が重要な役割を果たし、石川県輪島市、珠洲市では合わせて約600人の団員が津波警報を受けている中、避難誘導や倒壊家屋の救助活動、また、土のうを使って道路の応急復

旧や、消防車両で防犯パトロールなど、普段行わない活動にも力を発揮しました。

そこで、以下お伺いします。

- ①消防団の平時の活動について。
- ②消防団員不足を解消していくために外国人の消防団員加入も含め、どのように取り組んでいくのか。

○消防長

①消防団は地域密着性、要員動員力、即時対応力といった特性を生かし、火災現場では消火活動や後方支援活動など、時、場所、天候にかかわらず実施しています。さらに、平時の活動では、各種イベントでの警戒活動、火災予防運動や歳末特別警戒など消防団車両による巡回広報、各種消防関連の事業に積極的に参加いただいています。

- ②消防団員確保に向けた今後の取り組みについては、外国人の方も含め、消防団の入団には柔軟性を持って対応していきます。消防団の魅力、やりがいなどの情報発信に取り組み、消防団員の確保を消防団組織内で検討してもらうよう推し進めていきます。

このほか

○春日部駅中心市街地のにぎわい創出について

都市計画道路 上野長宮線について



河井 美久
議員

都市計画道路の開通は、円滑な移動を確保するための交通機能としての都市機能だけでなく、もう一つ、まちのにぎわいや、活力を生み出す役割があると思っています。

市の都市計画道路が新しく一本通ること、その周辺地区は、時間の経過とともに、住宅や商業施設が立ち並び、大きくまちの状況が変わってきています。

私は、この上野長宮線の開通が、これからの豊春地区の発展に大きく寄与するものと期待しています。

そこで、事業の進捗状況および開通予定を伺います。

○建設部長

事業主体である埼玉県によると、事業の進捗状況については、令和4年度から令和5年度にかけて、国道16号からさいたま市方面へ向けた約420メートルについて、増野川横断部分のボックスカルバ

ート設置を含めた、道路整備工事を実施しており、今年度末で2層仕上げとなるアスファルト舗装のうち、基層までの整備を完了する予定となっています。

開通予定ですが、令和6年度に、国道16号の野田市方面から、さいたま市方面へ向かう車線に、上野長宮線に進入するための右折レーンに必要な用地取得を行います。

用地取得後は、右折レーンを含めた交差点改良工事、歩道部にある情報管移設工事、本線の舗装工事などを行い、開通となる見込みです。

庄和インター周辺地区の 土地利用について



吉田 稔
議員

庄和インター周辺地区の土地利用について、さまざまな変遷を経て、現在まで開発が進んでいる下柳地区の庄和インター周辺地区。イオンモール春日部を中心に開発が進み、各種商業施設や大型倉庫が立ち並び、雇用の拡大にもつながっています。

しかしながら、ある一定の地域が歯抜け状態で開発が残ってしまい、今後について、いま一度考えなければならぬタイミングにあるというのは皆さんもご承知のとおりかと思っています。

そこで、以下お伺いします。
①現在の土地利用状況について。
②今後の土地利用については、どのように考えているのか。

○都市整備部長

①庄和インター周辺地区における指定区域については、産業施設の立地を推進するため、春日部市企業誘致条例による奨励措置などを実施し、現在約8割の土地利用が図られています。その一方で、未利用地については、開発行為における接道の要件を満たすことが難しいことや土地面積が小さいことなどにより、土地利用が進んでいない状況です。
②今後においては、本年4月に当地区における区域指定を廃止する告示を行い、本年4月から令和8年3月まで2年間の経過措置期間を設け、令和8年4月1日に区域指定を廃止する予定です。

このほか
○部活動の地域移行について

武里駅周辺の まちづくりについて



山口 剛一
議員

現在、武里駅周辺では、全国的に見ても珍しい、2つの異なるアプローチのまちづくりを同時に行っています。この春日部市の事業決定は大いに評価されるべき事業です。

一つは「武里平成通り商店会・武里西口名店会・武里東口商店会」の三つの商店会が一体となって地域経営に取り組みスクラム商店街プロジェクト。もう一つは、スクールを開催し、受講者が主導で、空き家、空き店舗などを、新しい使い方をすることで、新たな価値を創造し、地域コミュニティの活性化を行うリノベーションまちづくりです。

両事業のこれまでの取り組みと令和6年度の予定をお伺いします。

○環境経済部長

スクラム商店街プロジェクト事業は、月に1回ワークショップを開催し、販売促進に向けたホームページ作成など

の準備を進めてきました。

令和6年度では、周辺の商店会やリノベーションまちづくり推進事業などとも連携を図り、武里駅周辺のさらなる活性化に取り組みしていきます。

○都市整備部長

リノベーションまちづくり推進事業は2回のスクールを開催し、1つのユニットがオープンしています。

令和6年度は各ユニットの創業につながるよう支援するとともに、専門家による講演などの支援を予定しています。

このほか
○春日部市の国際交流について



北春日部周辺の まちづくりについて

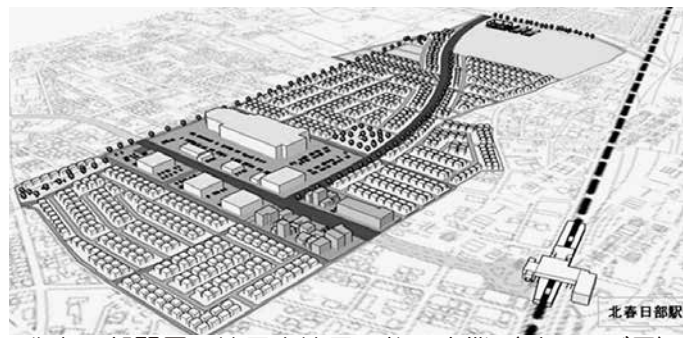


阿部 雅一
議員

北春日部駅周辺地区土地区画整理事業については、工事着手に取りかかる矢先、物価の高騰で工事価格が相当膨れ上がった状況の中、組合さん業者さん、共に身を切る思いで資金計画の大幅な見直しやさまざまな検討が進められていくと伺っています。

当初予定の工事価格と、かなり開きがある事業費の捻出に苦慮されながらも、この事業は春日部市にとつてのまちづくりでもあり、どうしても成功させる事業であると、私は願ってやみません。市としても、この事業の推進に向けて、何らかの支援策がないものか、市長の考えを伺います。

○市長
この事業については、地域の皆さまや関係各位のご協力をいただながら、ようやくスタートした事業であり、事業の成功に向けて、今日まで強い思いを寄せてきました。



北春日部駅周辺地区土地区画整理事業（イメージ図）

事業の推進については、物価高騰など、社会情勢を踏まえたさまざまな事情はありますが、この事業は今後のまちづくりの礎ともいえ、市議会の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、何としても成功させたいと考えています。

現在、土地区画整理組合において、工事着手に向け、事業計画の見直しが行われると伺っています。本市としても、事業を成功させるため、可能な限りの支援をしていきます。

このほか

○まちのコモンスペースの活用について

子育て支援について



藤原 智子
議員

国では、5歳児に対する健康診査の費用を助成することにより、出産後から就学前までの切れ目のない健康診査の全国的な実施を目指すこととしました。

「3歳児健診」と「就学時健診」の間に5歳児の乳幼児健診を行い、コミュニケーションの問題や発達障害が疑われた場合、就学までの1年間に療育などを受けて、就学を迎えるための準備を始めるきっかけとすることができま

す。現在行われている乳幼児健診では、限界があるとされる発達障害などの子どもたちの早期発見の機会となる「5歳児健診」の必要性について、本市としての見解を伺います。

○こども未来部長
5歳児健康診査は、新たな取り組みであり、集団での健診を通じて、発達障害など心身の異常の早期発見や、育児上の問題や課題を把握し、就

学前までに必要な支援につなげることが求められています。5歳児の年齢は、言語の理解力や社会性が高まり、発達障害が認知される時期でもあります。この時期における保健、医療、福祉による対応の有無により、その後の成長発達に影響を及ぼすことが指摘されています。

このため、本市としても、国の方針に従いながら、5歳児健康診査の実施を検討していきたいと考えています。

このほか
○ゴミ出しルールの周知について

新庁舎でのにぎわいを 創出するための計画について



榛野 博
議員

新庁舎において、まちのコモンスペースが設置され、すでにマルシェなどを開催し、大変にぎわっていました。本市は、まちのコモンスペースを市民に、どのように活用して、にぎわいを創出していく計画なのか伺います。

また、本市はイベント時に

飲食店が出店する場合、申請などの手続きが大変と聞きます。より市民が取り組みやすいように、出店に際し、必要な申請手続きなどをサポートする考えがあるか伺います。

さらに、敷地の有効活用として、第二庁舎南側の自転車置き場辺りのスペースを平日の昼時など、キッチンカーやワゴン販売に開放するような考えはあるのか伺います。

○財務部長

まちなか広場のイベントでは、市が主催または関係する形で試行的に開催してきましたが、今後は、市民や団体などが主体となつて開催できるようにしていきます。

サポートについては、利用方法や手続案内など、市民や団体等がイベントを開催するために必要な支援の検討を行い、マニュアル化も含め、支援体制を整えていきます。

新庁舎には、レストランや売店が運営を行っており、その運営に影響が生じる可能性があるため、運営状況を確認した上で検討していきます。

このほか

○公共事業におけるチェック体制について

○防災士について

春日部メソッドの 推進について



奥沢 裕介
議員



先月、私の母校の小淵小学校で、子どもたちが楽しく、能動的に学ぶ授業を行うための研究発表会が行われました。本市の小・中学校で、さまざまなテーマや目標を基に取り上げられており、「春日部メソッド」と名を打ち、取り組みま

まれていると伺っています。本市の小・中学生の指導に「春日部メソッド」を推進していくことで、10年、15年後に、社会へと羽ばたいていくことになる子どもたちに、どのような能力を身に付けてほしいとお考えか伺います。

○教育長

子どもたちには、自分の思いや考えを自分の言葉で自信を持って豊かに表現できる力を身に付けてほしいと思っています。その際、タブレットパソコンなどを効果的に活用できるスキルを身に付けることだけでなく、花の香りや虫の声、ぬくもりなど五感で感

じる感性、人の痛みが分かる思いやりを持った子どもに育ってほしいと思っています。これらは全て春日部メソッドの目指すところです。

今後においても、「伝えあい 学びあい 育ちあい 思いあいがうれしい教室 うれしい学校」を目指して、学校、家庭、地域と共に、子どもたちの生きる力の育成に取り組んでいきます。

このほか

○ゼロカーボンシティ推進本部について

○行財政改革に向けたマインド変革の醸成について

春日部市の 人口増加策について



永田 飛鳥
議員



本年1月、「埼玉県民、2カ月ぶりに減少。2023年12月の推計人口減少1位は春日部、11月中に132人減少」とショッキングな新聞報道がされました。

本市は、最上位計画で「これからも選ばれるまち」の実現を目指しています。

私は、減少1位という不名誉な表現をされるよりも、増加1位という名誉な表現をされる春日部市であってほしいです。そのためには、より詳細で具体的なターゲット層を明確にし、分かりやすく、特徴的な施策を打つことが重要だと思っています。

そこで、定住人口の推移と人口増加策について伺います。

○総合政策部長

本市の人口は、令和元年度から転入者数が転出者数を上回る社会増の状態にあり、特に20歳代から40歳代の子育て世代の転入が増加しています。

一方で、死亡者数が出生者数を上回る自然減の状態が続き、中長期的に減少していく予測となっています。

人口減少、少子高齢化に対する取り組みについては、子育て世代に選ばれるまちプロジェクトを含む5つのプロジェクトを中心に、各施策をバランスよく展開し、出生率の向上や健康寿命の延伸、転入促進を図っているところです。これまでの子育て施策や、まちづくりなどをはじめ、新たな魅力についても、市内外に對し、より効果的に分かりやすく発信をしていきます。

一ノ割地域を 安心安全に



木下三枝子
議員



一ノ割地域の住民が求める安心安全な暮らし、付近の商店の活性化のためにも一ノ割駅西口改札の実現を目指して、市の認識を伺います。

西口改札の設置について、現状を伺います。

次に、一ノ割地域の課題について、以下の点を伺います。

①駅前の公衆トイレの設置について。

②駅前で喫煙される方がおり、投げ捨てや副流煙の問題点について。

③一ノ割公園のある市役所通りの交差点について、近隣の利用者が安全な通行を求めていることから、信号機の設置について。

○都市整備部長

西口改札の認識と現状については、駅舎の橋上化や駅前広場の新設、都市計画道路、生活道路などを総合的、一体的に整備する必要があると認識していますが、西口に改札

を設置するには、用地の確保が難しい状況となっています。

①トイレの設置については、地域のかたがたの意見を伺いながら検討していきます。

○健康保険部長

②危険行為の防止や環境美化また、望まない受動喫煙が生じることがないよう、今後東武鉄道と協議していきます。

○市民生活部長

③公安委員会の窓口である春日部警察署に要望しています。設置には至っていません。

このほか

○市民の声を生かした地域交通施策を



庄和北部地域における 観光促進について



会田 吉幸
議員



令和6年8月に大風文化交流センターが開館します。市長の施政方針演説においても、郷土の歴史と文化遺産の保存と活用についての話がありました。観光地として人を呼び込むには、観光資源ごとの単体で考えるよりも、その地域の観光資源を一体として、地域として考えたほうが庄和北部地域の活性化にもつながると思います。

そこで、以下伺います。

①市は現状どのように考えているのか。

②集客に当たり飲食店などの出店は考えているのか。

○環境経済部長

①近年では、旧富多小学校跡地を活用した、春日部みどりのPARKや、令和2年3月に国史跡に指定された、学術的な価値の高い神明貝塚、県内産が注目を集めているイチゴなどの収穫体験ができる観光農園など、魅力ある観光資

源が存在する地域であると考えているところです。

②マルシェの開催など、イベントを企画する際にはキッチンカーや調理台のある実習室などを活用した、飲食店の出店も検討していきます。

また、同日に複数のバスツアーの受け入れがある場合などは、観光協会やかすかべフードセクション認定事業者などと連携を図りながら、効果的な出店につながるよう検討していきます。

このほか
○庄和体育館の利便性について

今定例会傍聴状況		月日	傍聴者数	主な日程
2/14	10	上程・説明	代表質問	質疑
21	2	質疑	質疑	質疑
22	3	質疑	質疑	質疑
26	4	質疑	質疑	質疑
27	4	質疑	質疑	質疑
28	1	質疑	質疑	質疑
3/1	12	委員会	委員会	委員会
4	7	一般質問	一般質問	一般質問
6	68	一般質問	一般質問	一般質問
7	31	一般質問	一般質問	一般質問
11	22	一般質問	一般質問	一般質問
12	22	一般質問	一般質問	一般質問
14	33	一般質問	一般質問	一般質問
18	14	討論・採決	討論・採決	討論・採決
合計	233			

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

2月9日

・令和6年3月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

1月12日

・議会報告会について
・本会議における電子採決について

・デジタル化とペーパーレス化について

1月29日

・議会報告会について
・本会議における電子採決について

・デジタル化とペーパーレス化について

2月7日

・本会議における電子採決について
・デジタル化とペーパーレス化について

▽広報広聴委員会

3月27日

・議会だより第75号について

4月4日

・議会だより第75号について

▽図書室運営委員会

4月4日

・令和5年度図書費決算について

・令和6年度図書費予算(案)について

編集後記

令和6年は東日本大震災が13年目を迎える一方で、1月1日に能登半島地震が起こりました。亡くなられた方がたへ心より哀悼の意を表し、被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

3月定例会は、改めて本市の防災施策について深く検証する議会となりました。防災拠点としての機能を併せ持つ新庁舎での初の議会でもあり、市民の安心安全な暮らしを守るために、市議会は一丸となって本市の施策を進めていく決意です。

市長の施政方針では、後期基本計画である「健康プロジェクト」に掲げる5つのプロジェクトを重点的・分野横断的に展開していくための予算編成が示されました。ぜひ議会だよりやホームページ、広報で詳細をご覧ください。

また、今号は現メンバーでお届けする最後の議会だよりとなります。これまでご愛読いただき、誠にありがとうございました。この場をお借りして、委員一同、心より感謝申し上げます。



広報広聴委員会

委員長	山口 剛一
副委員長	木下三枝子
委員	会田 吉幸
委員	平沢 一博
委員	阿部 雅一
委員	奥沢 裕介
委員	中村 貴彰
委員	大里 昇
委員	荒木 洋美
議長	吉田 稔
副議長	

〒344-8577

埼玉県春日部市中央七丁目2番地1

春日部市議会

TEL 048-796-8395